

# 平成30年度「ふるさとふくしま応援寄附金」のご報告

平成30年度(平成30年4月から平成31年3月まで)の受入額とその使いみちをご報告いたします。

## 1 寄附金の受入実績

寄附件数	512 件
寄附金額	22,473,575 円

(使途別内訳)

① 自然環境の保全	10 件	1,242,532 円
② 次世代育成支援	71 件	4,626,645 円
③ 本県の活力増進	24 件	482,904 円
④ おまかせ(災害復旧・復興のための事業)	407 件	16,121,494 円
合計	512 件	22,473,575 円

## 2 寄附金の使途

活用させていただきました事業をご紹介します。

### ① 自然環境の保全

#### ●国立公園等施設整備事業

尾瀬や裏磐梯などのすばらしい風致景観を維持し、利用者の安全と利便性向上のため、登山道や山岳トイレ等の施設を整備しました。

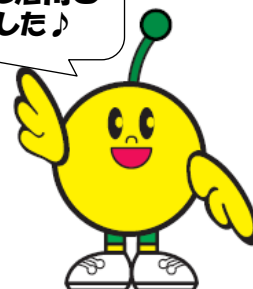


(尾瀬国立公園)

#### ●県営林の保育管理事業

県土の保全、水資源の涵養、森林資源の充実を図り、加えて、山村地域の安定雇用への貢献、林業技術の向上等、事業を通じて林業の活性化と地域振興に寄与し、併せて県有財産の造成を図るための事業を実施しました。

ふるさとふくしま応援寄附金は大事に活用させていただきます♪



## ② 次世代育成支援

### ●子育て応援パスポート事業

子育てしやすい県づくりの一環として、協賛企業からの支援サービスが受けられるパスポート(ファミたんカード)を、子育て家庭に交付しました。



(ファミたんカード)

### ●「ふくしま活用力育成シート」実践事業

本県児童生徒の課題である活用力を育成するため、それに特化した問題を作成して提供しました。また、問題提供を通して、活用力育成のための充実した授業づくりを支援しました。



(小学生の授業風景)

### ●アクティブ・ラーニングによる学力向上推進事業

新学習指導要領でも求められているアクティブ・ラーニングの視点を各学校の授業に取り入れることにより、新しい時代に求められる学力の向上を図るとともに、各学校の特色や生徒の実態に応じた役割・使命を全面的に支援し、生徒の進路希望の実現を図りました。



(高校1年生の発表の様子)

## ③ 本県の活力増進

### ●チャレンジふくしま首都圏情報発信拠点事業

風評払拭、本県のイメージ回復、震災の風化防止を図るため、本県のアンテナショップ「日本橋ふくしま館 MIDETTE(ミデッテ)」において、県内団体との連携のもと、復興に向かう「ふくしまの今」等を総合的、継続的に発信しました。



(5周年記念イベント)

## ④ おまかせ(災害復旧・復興のための事業)

### ●水産試験研究施設整備事業

本県の水産業の復興・再生に向け、魚介類の放射性物質に関する課題等へ対応するための研究施設として、いわき市小名浜に「福島県水産海洋研究センター」を整備しました。



(県水産海洋研究センター)